



かぜくも

いわき支援学校

地域支援センター通信 No. 29

R5. 12. 20発行

「君は、本当は、いい子なんだよ」

いわき支援学校副校長 千葉 秀樹

「お宅のお嬢さんがいると、クラス中の迷惑になります。よその学校にお連れください。」

小学校に呼び出された母親が、担任の先生にそう言われたそうです。その子は、公立小学校に入学しましたが、授業中に机のふたを何回も開け閉めしたり、立ち歩いて窓から、ちんどん屋に声をかけたりするなど落ち着いて授業を受けられないことから、1年生の途中で学校を退学させられてしまいました。

黒柳徹子さんの幼少期の自伝「窓際のトットちゃん」のエピソードです。徹子さんは、この後、トモエ学園に入学し、素晴らしい校長先生や個性的な友達と出会います。そこは、体に障がいがある子も含め、子どもたち一人一人、分け隔てなく自然に過ごせる環境がありました。時代は、戦前から戦時中、現代とは全く違う世界です。トモエ学園の校長先生たちは、子どもたちの個性や主体性を大切にし、子どもたちの興味・関心を中心にした学習や様々な体験活動を展開していきます。

「子ども中心」といっても、子どもが自己中心的に好き勝手をするという意味ではありません。大人が計画した教育内容を子どもに一方的に詰め込むのではなく、子ども自身がもともと持っている個性や興味・関心などを大切にし、子どもが主体的に学べるような教育です。そして、校長先生は、徹子さんと会うたびに、「君は、本当は、いい子なんだよ」と言葉を掛けてくれたそうです。

域内の学校などへ伺うと、学習上の困難さ、生きづらさを抱えて、学校生活を送っている子どもたちと出会います。地域支援センターは、地域の幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校に在籍する本人や保護者、教職員、その他の関係者の支援ニーズに応えるための活動をしています。

「地域で共に学び、共に生きる教育」は、本県特別支援教育の基本理念です。多様性を認め合い、多様性を力に変えることも福島県のめざす教育でうたっています。子どもの見方をほんの少し変えるだけで、周りの対応が変わり、子どもの変容につながるケースがあります。子どもたちにとって何が最良かを一緒に考えることができれば幸いです。



<ミニセミナー>

市内の幼・小・中・高等学校の先生方や特別支援教育に関心のある方などを対象とした特別支援教育にかかわる勉強会です。「境界線、グレーゾーンと言われる児童生徒の進路と支援」というテーマで、9月に、いわき地区若者サポートステーションの清水国明様と神永いつか様を講師に招いて実施し、現代の若者が抱える様々な不安や課題について学ぶことができました。11月には、「他害や暴言など行動に特徴を抱える生徒の理解と指導」というテーマで、本校教諭の鈴木明仁先生を講師に実施し、暴力や暴言になるきっかけや特性のある子どもたちへの関わり方などを学ぶことができました。

第3回目は、令和6年1月17日(水)に、「特別支援教育(知的・情緒)における自立活動の指導事例紹介」というテーマで、県特別支援教育センター職員の遠藤孝太郎様をお招きして講演いただく予定です。ぜひご参加ください。

< 中高情報交換会 >



11月1日(水)に中学校と高等学校の教員を対象にした中高情報交換会を実施しました。市内中学校の特別支援学級を担任されている先生方といわき翠の杜高校、四倉高校、東日本国際大学附属昌平高校の先生方20名が参加されました。

前半は本校高等部2,3年生の職業科の授業見学を行い、後半は特別支援学級を卒業し、高校に進学した生徒たちの高校での学校生活の状況、高校側ができる支援について情報を交換しました。現在進路指導の悩みを抱えている中学校の先生方から高校の先生へたくさんの質問が上がり、各高校の先生方にはその一つ一つに丁寧に答えていただきました。

参加された先生方から、「普通高校での話を聞ける機会がなかなかないため、高校の先生の生の声が聞けて、大変参考になった」「中学時代に身に付けたい力、授業や学校生活でどこまでできればよいのか知ることができ、受験校を決める際の目安になった」などの感想をいただきました。



< かぜくも教室 >



就学前のお子さんの保護者さんを対象にした、かぜくも教室を、「先輩お母さんの話を聞こう」「子どもと福祉サービス」「子どもの育ちを見守る」というテーマで、計4回実施しました。先輩お母さんには、昨年度の本校高等部卒業生2名のお母さんを講師に、小学校入学前後の様子や子育てでの悩み、小・中・高と就学先を決めるときに悩んだこと、また、実際にどう動いたか、現在学校を卒業して社会に出てからのことなど、様々なお話がありました。参加されたお母さんから「将来の子どもの姿に期待が持てました」などの感想をいただきました。福祉や育ちについては、利用できるサービスについて手続きの仕方から、現在悩んでいることはどこへ相談すればよいのか、また相談の仕方など具体的なアドバイスがありました。

今年度最後のかぜくも教室は、1月25日(木)に「先輩お母さんの話を聞こう③」を予定しています。



地域支援センターでは、早期教育相談の場として、「かぜくもひろば」や「かぜくも教室」を開催しております。「かぜくもひろば」は、就学前のお子さんを対象に、小集団での遊びを通してかわりの手掛かりを探していきます。「かぜくも教室」は、就学前のお子さんの保護者の方を対象に行っている勉強会です。また、就学前のお子さん、小・中・高等学校在学中の児童生徒さんやその保護者の方、担任の先生方などから個別にお話をお聞きして、お子さんの養育や成長、支援について一緒に考えていく「かぜくも相談室」もあります。

お問い合わせ (☎34-3806)

また、地域支援センター直通の電話080-7512-8323でも相談が可能です。ぜひ、ご活用ください。

